

製品名: EMR3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10448**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	EMR3
別名	EMR3; EGF-like module-containing mucin-like hormone receptor-like 3; EGF-like module receptor 3
遺伝子 ID	84658.0
SwissProt ID	Q9BY15
免疫原	抗血清はヒト EMR3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 603-652

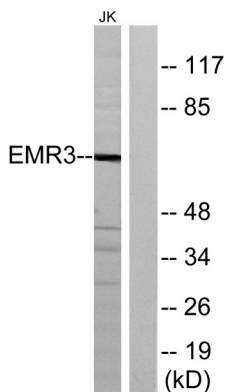
背景

この遺伝子は、主に免疫系細胞で発現するクラス B 7 回膜貫通型 (TM7) 受容体ファミリーのメンバーをコードしています。ファミ

リーのメンバーは、ムチン様スパーサードメインを介して TM7 ドメインに結合した、可変数の N 末端上皮成長因子 (EGF) 様ドメインを含む拡張細胞外領域を特徴としています。この遺伝子は、19 番染色体上のムチン様ホルモン受容体 2 を含む EGF 様分子をコードする遺伝子と密接に関連しています。このタンパク質は、免疫反応および炎症反応における骨髄細胞間相互作用において役割を果たす可能性があります。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2014 年 1 月]、機能: 免疫反応および炎症反応における骨髄細胞間相互作用に関与すると考えられる受容体。この受容体の可溶性型のリガンドは、単球由来マクロファージおよび活性化好中球の表面に存在する。、PTM:タンパク質分解により 2つのサブユニット (細胞外αサブユニットと 7回膜貫通型サブユニット) に切断される。、類似性:G タンパク質共役受容体 2ファミリー (LN-TM7 サブファミリー) に属する。、類似性:1つの GPS ドメインを含む。、類似性:2つの EGF 様ドメインを含む。、細胞内局在:可溶性型 (αサブユニット) も検出される。、サブユニット:7回膜貫通型部分 (βサブユニット) に非共有結合した大きな細胞外領域 (αサブユニット) からなるヘテロ二量体を形成する。、組織特異性:主に白血球に限定して発現し、好中球、単球、マクロファージで最も高いレベルで発現する。、

研究分野

画像データ



EMR3 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。